

地域で安全・安心なまちづくりを目指して

●問合せ 市役所交通防災課 交通・防災 G 内線 138

暴力団施設排除を求める啓発活動



6月27日、守谷駅前において暴力団施設の排除を求める啓発活動を実施しました。

守谷市暴力団追放推進協議会、警察官、弁護士等、その他多数の市民の方約110人が参加し、暴力団施設の排除への協力を呼び掛けました。

●市内の犯罪発生状況（平成26年1～5月）

発生地域	刑法犯総数	街頭犯罪	住宅侵入犯罪	万引き	コンビニ強盗	振り込め詐欺
①	185(+4)	78(+13)	12(△10)	36(△6)	0(0)	0(△1)
②	58(△1)	31(+2)	6(△1)	1(0)	0(0)	0(0)
③	38(△7)	22(+3)	3(△3)	0(△4)	0(0)	1(+1)
合計	281(△4)	131(+18)	21(△14)	37(△10)	0(0)	1(0)

街頭犯罪内訳

発生地域	乗り物盗			ひったくり	車上狙い
	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗		
①	8(△4)	15(+11)	41(+4)	0(△2)	14(+4)
②	5(+2)	4(△1)	8(△9)	0(0)	14(+10)
③	2(+1)	0(△3)	14(+4)	1(+1)	5(0)
合計	15(△1)	19(+7)	63(△1)	1(△1)	33(+14)

※()内の数字は、前年1～5月との比較

▶発生区分

- ①本町、松並、ひがし野、赤法花、同地、百合ヶ丘、中央、松ヶ丘、大柏、野木崎
- ②久保ヶ丘、御所ヶ丘、立沢、松前台、薬師台、緑、板戸井、大木、大山新田
- ③みずき野、小山、乙子、けやき台、高野、鈴塚、美園

守谷市の交通事故発生状況（6月） 件数 15件 死者数 0人 負傷者数 21人

取手市医師会健康教室

C型肝炎

「肝臓は沈黙の臓器」といわれることがあります。国民病とも言われるC型慢性肝炎は、症状の無い潜在的な感染者を含めると、日本に200万人もの患者がいると推測されています。自然に治ることはなく、徐々に進行し、10～30年で肝硬変、肝臓がんに行進していきます。慢性肝炎は無症状の方が多いため、検査を受けないでいると気付かないうちに病気が進行し、肝硬変や肝臓がんを発生して初めて発見されます。肝臓病は進行するまで症状が出ない、これが「沈黙の臓器」といわれるゆえんです。C型肝炎ウイルスにはいくつものタイプがありますが、日本人に多いセロゲルプ1は、インターフェロン治療（ウイルス増殖の阻止や細胞増殖の抑制）を行っても、完全に治ることは難しいといわれています。

新薬の登場により、インターフェロン治療と併用した新しい治療を行うと、セロゲルプ1のC型肝炎の方でも、治る可能性が十分にあります。ほかに新たな有望な薬剤が開発されつつあり、将来的にはインターフェロン治療が無くて、C型肝炎を治すことができるようになるといわれています。C型肝炎の診断は、まず血液でC型肝炎ウイルス抗体の検査から始まります。血液検査をしなければ決して分かりません。肝臓の数値が高いといわれたことがある方（特に平成4年以前に輸血や血液凝固因子製剤を投与されたことがある方）、また肝機能検査結果が正常でも、感染の場合がありますので、これまで一度も肝炎ウイルス検査を受けたことが無い方は、一度検査を受けることをお勧めします。もし感染が判明した場合は、担当医とよく相談し、適切な治療を選択することが大切です。